

オーガニックビレッジ宣言に伴い 小学生と有機バケツ稲に挑戦！ 【取材対応：5月13日(月)13:00～】

JAあいち三河は、管内である岡崎市、NPO法人おかざき農遊会と連携し、食育活動の一環として、岡崎市内小学校（14校）で有機肥料を使ったバケツ稲の栽培支援に初めて取り組みます。5月13日には、岡崎市立奥殿小学校の児童が、黒土と赤玉土、鹿沼土の割合を確認しながら混ぜ合わせた土をつかって、有機の肥料とあわせて事前に芽出した種もみをバケツに植え付けます。

この取組は、岡崎市が令和6年3月26日に宣言した「オーガニックビレッジ」（地域一体となって有機農業に取り組むこと）の一環で実施。有機による循環型農業を、児童らに幅広く体験してもらうことを目的としています。講師は、地域農業への支援や食育などを行うおかざき農遊会の会員が担当し、当JAの新入職員がサポートします。



▲講師を担うおかざき農遊会の会員ら



▲当日のイメージ

取材対応

日時：5月13日(月)13:00～

開催場所：岡崎市立奥殿小学校（岡崎市奥殿町仲西73）

<お問い合わせ> ※取材にお越しいただける際は、事前にご連絡ください。

JAあいち三河 総合企画部 企画広報課（担当：岡田）

TEL：0564-55-3034 FAX：0564-55-2950



※この情報は、JAグループ愛知記者会、岡崎市政記者クラブにおいてプレスリリースしています。